

令和4年度奈良県後発医薬品安心使用促進協議会について

開催日時：2022年11月30日（水）14:00～16:00

場 所：WEB形式

議 題：(1) 協会けんぽ奈良支部におけるジェネリック医薬品の使用状況（全国健康保険協会奈良支部）
(2) 令和4年度の取組みについて（薬務課）
(3) 奈良県における後発医薬品使用促進の取組みについて（医療保険課）
(4) 「ジェネリック医薬品に対する信頼の回復」に向けた日本ジェネリック製薬協会の取組みについて（日本ジェネリック製薬協会）
(5) 令和5年度の取組みについて（薬務課）

説 明 者：田中 俊幸氏（日本ジェネリック製薬協会 推薦委員）

概 要：当該協議会において、GE薬協推薦委員（GE薬協広報委員会委員長）の田中 俊幸氏より「『ジェネリック医薬品に対する信頼の回復』に向けた日本ジェネリック製薬協会の取組み」について説明しました。

講演の前後で出た「ご質問・ご意見」を以下にご紹介させていただきます。

- （GE薬協が実施した「製造販売承認書と製造実態の自主点検」について）問題が無かったのは点検品目数の内、何品目だったのか？
- （品質問題を未然に防ぐことを目的とした）製造所に対する外部監査について、対応先が見つからなかったのは何故か？
- 厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課の安藤公一課長より話題に出ていた「医薬品供給情報の把握（義務化）」について、その後、法案は通過したのか？
- 上記の通り、国の動向がある中で、昨今、共和薬品工業株式会社から供給停止の案内が出た際、その理由について“諸般の事情”としか記載がなく、“全く信用ならない”との印象を持った。
- 種々の問題を踏まえ、ジェネリック医薬品業界に対しては、“抜本的なビジネスモデルの見直しが必要”と考える。
- このように説明の場を設けていただいたことには感謝するが、正直、“前回の議論からの進捗があまり感じられない”。
- “医療現場が安心して使える”ようになるまでには、あとどのくらい時間がかかるか？
- GE薬協の取組み、国の動向等についてよく理解出来た。ぜひ頑張ってほしい。宜しくお願い致します。